

(全国の小学校段階の児童向け)

しんがつき むか  
新学期を迎えるみなさんへ

みなさん、<sup>にゅうがく</sup>入学、<sup>しんきゅう</sup>進級おめでとうございます。

ことし べんきょう ちから はっき あたら ともだち つく  
今年もまた、勉強にスポーツに力を発揮し、新しいお友達をたくさん作ってくだ  
さい。

にほん おそ おお じしん つなみ いちねん  
日本を襲った大地震と津波から、一年がたちました。

ひがい ちいき ふじゅう せいかつ かた  
被害にあった地域には、まだたくさんの、不自由な生活をしている方たちがいます。

がっこう こわ きょうしつ じゅぎょう う こ  
学校が壊れ、まだきちんとした教室で授業を受けられない子どもたちもいます。

この<sup>いちねんかん</sup>一年間、<sup>ぜんこく</sup>全国のみなさんは、<sup>ぼきん</sup>募金をしたり、<sup>てがみ か</sup>手紙を書いたり、<sup>かたち</sup>いろいろな形  
で、<sup>ひがい</sup>被害にあわれた<sup>かた</sup>方たちを<sup>はげ</sup>励ましてきました。

なによりも、みなさんの<sup>えがお</sup>笑顔が、<sup>わたし</sup>私たち<sup>おとな</sup>大人に、<sup>みらい</sup>未来への<sup>きぼう</sup>希望を<sup>おし</sup>教えてくれました。

ほんとう  
本当にありがとう。

そして、どうか、そのような、<sup>たにん</sup>他人を<sup>おも</sup>思う<sup>きも</sup>気持ちを<sup>わす</sup>忘れずに、<sup>あたら</sup>また<sup>いちねん</sup>新しい一年を<sup>す</sup>過  
ごしてください。

にほん しぜんさいがい おお くに  
日本は自然災害の多い国です。

つなみ じしん わたし う わかやまけん さくねん すいがい おお ひがい う  
津波、地震だけではなく、私の生まれた和歌山県も、昨年、水害で大きな被害を受  
けました。

しぜん にんげん きび しれん か わたし にんげん しぜん  
自然は、人間に厳しい試練を課すときがあります。しかし、私たち人間は、自然  
からの<sup>めぐ</sup>恵みを受けて<sup>う</sup>生きて<sup>い</sup>いることも<sup>まちが</sup>間違いありません。

どうか、たくさん<sup>べんきょう</sup>勉強をして、<sup>しぜん</sup>自然と<sup>とも</sup>共に<sup>い</sup>生きる<sup>ちえ</sup>知恵を<sup>まな</sup>学んでください。

今回の震災では、外国からもたくさんの手助けや励ましがありません。

日本と日本人は、ひとりぼっちの存在ではありません。

みなさんは、大人になってから、助けてくれた外国の方たちに、きちんとお礼を言える人間になってください。そして困っている人がいたら、生まれた国や民族に関係なく、手をさしのべられる人になってください。

地震や津波、原子力発電所の事故に命がけで立ち向かう、消防士さんや警察官、自衛官の人たちの姿を、みなさんはテレビを通して見たと思います。そして何より、子どもたちを命がけで守った、たくさんの先生方のことを忘れないでください。

みなさんも、一生懸命勉強し、スポーツで身体を鍛え、芸術に触れて優しい心を育み、そして他人のために働ける人になってください。

なんだか、お願いばかりになってしまいました。

しかし、これが私の今の気持ちです。日本の未来は、みなさんにかかっているのです。

私も、全国の学校の先生と一緒に、日本中のすべての子どもたちが笑顔で登校できるように、全力でみなさんを支えます。

みなさんの明るい笑顔で、もっともっと日本を元気にしてください。

文部科学大臣 平野 博文